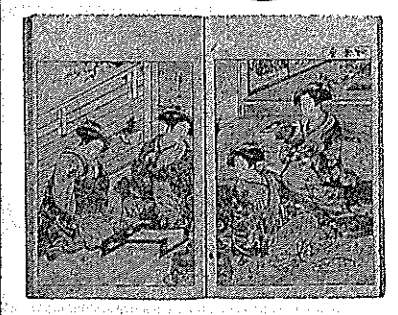
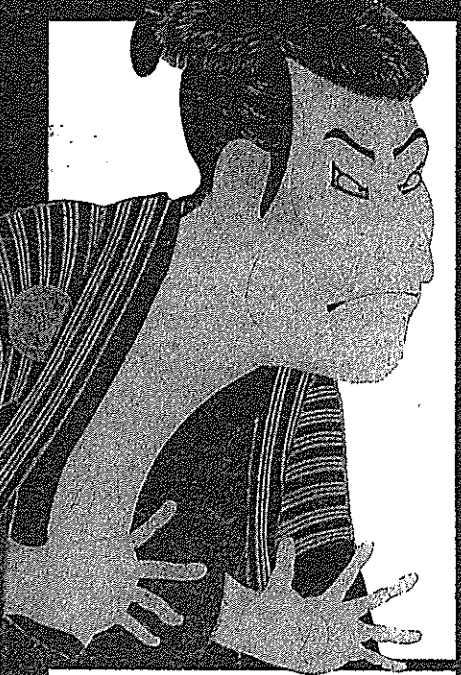


葛重・馬琴・写楽・越谷新聞

令和7年4月20日・越谷人と葛重・馬琴・写楽号・旧日光街道・越ヶ谷宿を考える会・発行



つた
じょう
ろう

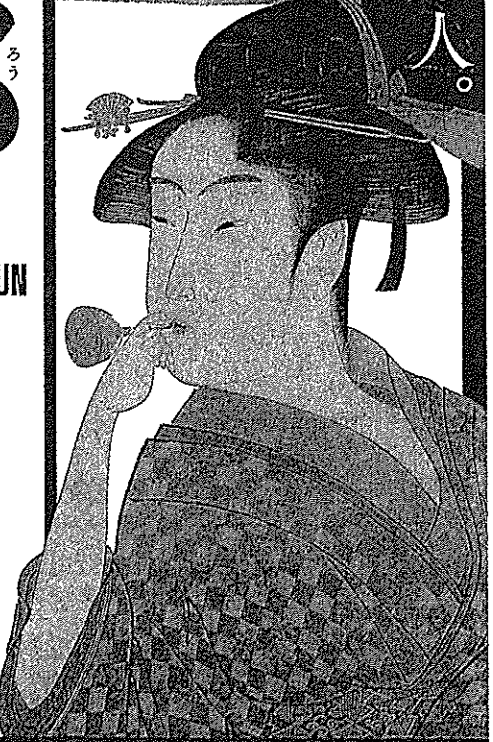
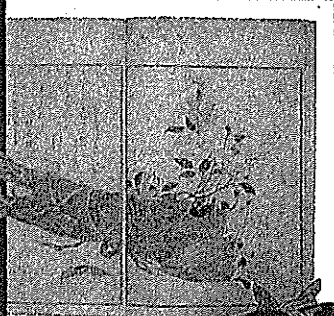
葛屋重三郎

コンテンツビジネスの風雲児

2025
4.22 TUE - 6.15 SUN



特別展



潜在顧客は、江戸の衆、百万人。

大河ドラマ「べらぼう」の舞台裏を覗く！
NHK
2025年1月放送開始予定

TNM 東京国立博物館 平成館 (上野公園)
TOKYO NATIONAL MUSEUM (UENO PARK)

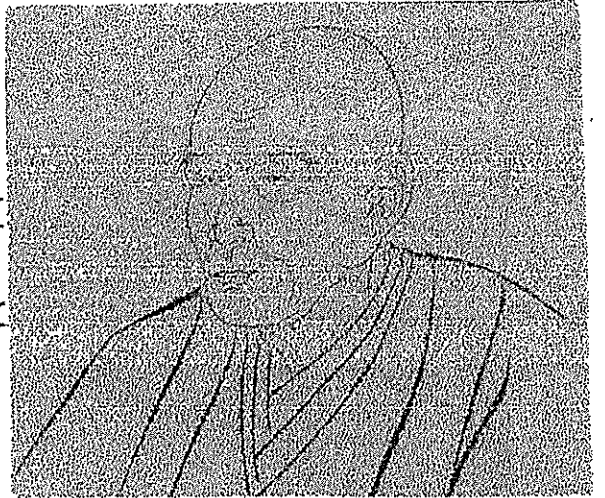
【主催】東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション 共同会社：050-5541-8600 (ハローダイヤル)
【展覧会公式サイト】 <https://tsutaju2025.jp/>

開館時間、休館日、入館方法、観覧料等の情報は、公式サイト、展覧会公式サイト等でお知らせいたします。展覧作品、会期、展示期間等については、今後の展示場により変更する場合があります。展覧会場は展覧会公式サイト等でご確認ください。会期中、一部作品の展示替えを行います。

展覧文化財：現代は身振舞の江戸川(部分) 明治時代(部分) 昭和6年(1931) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和10年(1935) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和15年(1940) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和20年(1945) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和25年(1950) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和30年(1955) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和35年(1960) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和40年(1965) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和45年(1970) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和50年(1975) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和55年(1980) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和60年(1985) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和65年(1990) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和70年(1995) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和75年(2000) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和80年(2005) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和85年(2010) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 昭和90年(2015) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 平成元年(1989) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 平成5年(1993) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 平成10年(1998) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 平成15年(2003) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 平成20年(2008) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 平成25年(2013) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 平成30年(2018) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 令和元年(2019) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 令和2年(2020) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 令和3年(2021) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 令和4年(2022) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 令和5年(2023) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 令和6年(2024) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分) 令和7年(2025) 東京府立博物館蔵、貸付品(部分)

曲亭馬琴と越谷の縁（えにし） そのⅠ

馬琴は、身分上は侍階級に属するとはいいいながら、「旗本の^{ようじん}用人」という最下層に近い身分で、主人（旗本）の息子にいじめられてイヤになり、自ら才能があると思う文筆の道で世間を渡ってみようと、一念発起。



曲亭馬琴

ハヤリの本屋である鳶屋に売り込みに行ったのですが、世の中はそんなにうまくはゆきません。簡単にうけいれてはもらえず、番頭でなら雇ってやるとか、からかわれ、それでも、まあ鳶屋なら出入りしておれば、先輩の作家も身近にいるし、勉強にもなるかなあ〜と通い始めたら、先に身を固めた方がいいと言われ、降ってわいた縁談で履物屋の娘（養女）と結婚したのです。馬琴は別に履物屋の主人になるつもりではなく、その家が貸家などをたくさん持っていたのがよかったらしいのですが、その家の主人がいまでいう南荻島の出身で、嫁の実家の父親は南荻島の隣の岩槻・^{すえだ}末田の出、母親も南荻島の出〜と南荻島のご縁つづきだったのです。

嫁は「お^{ひやく}百」という名で、悪妻で名高いのですが、これは、馬琴の「うちの悪妻が〜」などの他人へのお世辞のつもりの口癖が悪妻論の始まりではないかという説もあるようです。

馬琴は、「^{なんそうさとみはっけんでん}南総里見八犬伝」を執筆中に両目を病気のため失明し、好評で打ち切ることも難しく、口述筆記でつなごうとしたのですが、歴史小説の用語は難しくて誰もできない。亡くなっていた馬琴の長男の嫁・お^{みち}路が泣きなが

らやらされ、^{しゅうと}舅の馬琴のそばにいる機会が多くなり、やきもち焼きのお百に耐えられなかったのかも知れません。

しかし、馬琴、お百、息子、お路は最後は仲良く合葬墓に入っていますし、越谷に関係ある女性に「悪人なし」ということにしておきましょう。

馬琴は、南荻島の親戚に対して、葬儀があった時には、手伝いに行ったり、案外、いいおじさんの役割を果たしていたようです。

曲亭馬琴と越谷の縁（えにし） そのⅡ



越谷吾山肖像 越谷吾山 杉本つとむ著 さきたま出版会 H1 刊から

馬琴が若い頃に、習っていたのが俳諧。長兄（^{おきむね}滝沢興旨・^{らぶん}俳号羅文）が師とした越谷^{ござん}吾山という越谷出身の宗匠に、自分も入門しました。

吾山は、越谷新町の^{なぬし}名主・会田久右衛門家で生まれ、越谷で俳句を作ったり指導したりしてま

したが、明和6年（1769）、53歳のころ江戸へ移ります。当時の江戸俳壇は^{はいせい}俳聖芭蕉の死後、混沌の状態。その中で、羅文と馬琴を弟子にしたのですから、実力ある宗匠でだったのでしょう。

市内には越谷・^{ひさいず}久伊豆神社の池のそばに「^{いづ}出る日の 旅のころもや はつかすみ」、「ひとつるべ 水のひかるや けさの秋」との句碑は、お隣で、墓もある天嶽寺の不動堂の脇に立っています。

吾山の俳句以外の大きな業績は、「^{ぶつるいしょうご}物類称呼」という、わが国初めての方
言辞典を^{へんさん}編纂したことです。方言としては3200語。吾山は生活や慣習に関心を持ち、その分野の方言を多く選んだようです。

日本の方言学は吾山から始まる～、大学の「方言学」の講義は「物類称呼」から始まる～といわれるものを、越谷吾山は作ったのです。

東洲斎写楽と越谷の縁（えにし） そのⅠ

写楽と越谷の縁で、最も太いものは、何といっても、「写楽」とはどういうヒトなのかがわからず、第一候補の「^{じゅうろう べ え}斎藤十郎兵衛」とは「^{あ わ はち}阿波蜂須賀氏」のお抱え能役者であったという説が天保15年（1844）刊行の「^{そう ぼ}増補浮世絵類考」にあるのを解明しようとしたのが、阿波＝徳島の「NPO



写楽筆 二世坂東三津五郎の石井源蔵

法人「写楽の会」の会員の方々だったのです。会員の方々が県立（徳島）図書館で資料を探しておられたところ、斎藤家は阿波家お抱えの能役者で「^{ご け に ん}御家人」なのだから、もしかしたら「^{かん せい ちやう しゅう し ょ か ふ}寛政重修諸家譜」に菩提寺に関して載っていないかということに気づき、調べてゆかれると、菩提寺が「^{ほ だ い じ}築地本願寺法光寺」という記事が見つかったのです。

法光寺へ電話をかけられると、番号案内にはなく、築地本願寺にかけられると、「法光寺は越谷へ移転した」とのこと。その後、越谷の法光寺に電話されると、「^{か こ ちやう}斎藤一族の過去帳」が残っているとの返事。ここで、ようやく「斎藤十郎兵衛」の实在が証明され、それが東洲斎写楽につながったのです。

これが、越谷と写楽との「ご縁」の始まりなのです。越谷の法光寺さんがなかったら、まだ、写楽が誰かわかっていないのです。もちろん、それを見つけた「写楽の会」さんのご努力にもお礼を申さねばならないのですが～

そういうご縁のおかげで、いま、法光寺さんのお庭に「蜂須賀桜」が植えられ、春には「縁のさくら」が花咲くのです。

越谷市民として、こんなうれしいことはないですよ。

東洲斎写楽と越谷の縁（えにし） そのⅡ



村田春海 日本肖像大事典 日本図書センター 1997 刊から

写楽こと齋藤十郎兵衛の地蔵橋のお宅の隣には、大変なヒトが住んでいました。それは国学者・村田^{はるみ}春海。春海の村田家は両替商、干鰯問屋の豪商。賀茂^{かも}真淵^{まぶち}を師匠とした国学者でしたが、兄の急逝により商売を継ぐこととなり、家業と学者とのかけもちに悩み、吉原で豪遊して

「十八大通」の十八人の通人の一人に数えられるようになりましたが、それが祟^{たた}って干鰯問屋は破産。天明7年（1787）、42歳で本居宣長^{もとおりのりなが}に出会い、心を入れ替えて国学に打ち込んだヒト。

春海には子どもがいなかったため、国学者仲間で越谷^{おんま}恩間の渡辺^{こうよう}荒陽の娘・多勢^{たせこ}子を養女にもらいました。多勢子は江戸住まいの大名の奥方や姫君に歌道や古典文学を教える才女でした。のちに養父・春海から村田国学を受け継ぎ、門人を育てたのです。そして、お隣に住む齋藤十郎兵衛の男の子を可愛がっていて、自分も結婚しなかったため、彼を養子として学問を教え、春路^{はるみち}という名前をつけました。春路は村田国学をつぐ国学者となったのです。

齋藤家の菩提寺の法光寺のある越谷市三ノ宮は、春路の養母・多勢子の生まれた恩間の近く。阿弥陀さまのご縁なのか、信じられないご縁つづきです。

馬琴のうしろに、写楽のうしろに、江戸時代の越谷がある！

こんなに、たくさんの「江戸時代・越谷の影」を見られる機会はめったにありません。馬琴と写楽の後ろに見え隠れする江戸時代の越谷をお確かめください。

① 蔦重のすべて！ 写楽の作品もほぼすべて 140 点が見られる！

東京国立博物館（上野）「蔦屋重三郎」4月22日（火）～6月15日（日）
大人 2100 円。

② 馬琴の妻・お百（越谷出身）は寺島しのぶ。馬琴の生涯と八犬伝が同時に～

映画「八犬伝」（南越谷・コミセン・小ホール）5月30日（金）～31日（土）・両日とも、10時・14時・18時30分（開場 30 分前）1000 円
（前売りなし。チラシの割引券持参 800 円）

③ 蔦重の発見才能ゾーン、仲ノ町ゾーンなど。大河ドラマ中心に～

台東区大河ドラマ館（台東区花川戸 2-6-5 台東区民会館内）～2026.1月12日（月祝）＜毎月第2月休・祝は翌日＞ドラマの衣装など。グッズ豊富。大人 800 円。

④ 馬琴と親しかった北斎の真に迫るマネキン人形も～ 鬼才・北斎を見る

すみだ北斎美術館「北斎×プロデューサーズ 蔦屋重三郎
から現代まで」～5月25日（日）＜毎月・月休・5月
5日開館・7日休＞ 大人 1000 円。

照会先 上野・東博 050-5541-8600 南越谷・コミセン 048-

985-1113 台東区大河ドラマ館 03-5246-1118 すみだ北斎

美術館 03-6658-8936



斎北師葛

葛飾北斎 日本名家肖像事典 ゆまに書房 S63 刊から